

課題名 (タイトル) :

QBiC 生体分子構造動態研究チームの遠隔地バックアップ

利用者氏名 : 安田 聡子

所属 : 生命システム研究センター 細胞動態計測コア 生体分子構造動態研究チーム

1. 本課題の研究の背景、目的、関係するプロジェクトとの関係

生命システム研究センター 細胞動態計測コア  
生体分子構造動態研究チームで所有している大容量 NMR 測定データおよび実験データの遠隔地バックアップを行う

2. 具体的な利用内容、計算方法

daily, monthly, yearly に分けたダンプレベルでアーカイビングしたファイルボリュームに ssh 接続し、転送及び HSI への保存をスクリプトで行う。

ツールの設置に HOME を、またデータのテスト restore に一時的に /data を使用。万が一リカバリする場合のみ、上記と逆の方向でファイルを呼び戻す。(その際には /data は使用しない)

2 月末現在の使用量

HOME: 800MB

/data: 0.1MB

HIS: 約 12TB (cos=560)

計算なし。

3. 結果

日々正常にバックアップが取られている。

4. まとめ

万一の事態が起こった際にもデータの復旧が可能となった。

5. 今後の計画・展望

引き続き、バックアップを行う予定である。